



令和3年9月  
58号

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター

# 花緑に癒される脳

## 第2回 「癒しの景観を見つけよう」

兵庫県立大学大学院 緑環境景観マネジメント研究科 教授／  
兵庫県立淡路景観園芸学校 主任景観園芸専門員 豊田 正博

前号では、私たちに自然や植物から心地よい刺激が届くと快感情が起こり、ストレス反応が鎮まることがお話しした。一方で、緑がある景観であっても癒される感覚が起きないこともある。では、癒される景観とそうならない景観の違いはどこにあるのだろう。



図1

環境心理学者のカプラン夫妻（ミシガン大学教授）は、景観に解放・広がり・魅了・適合性の4つの要素があると非自発的注意が起こりやすいと述べている。

解放とは、見慣れた日常（家の部屋、仕事場、人混み、建物など）が見えず、日常から離れた感覚である。都会の人が田舎に旅行に行きたくなるのに似ている。

広がりとは、日常の生活空間より広い空間にいる感覚や、部屋のカーテンを開けた時に外の景色が見えてホッとする時の感覚である。

魅了とは、自然の光、海・湖・川などの水、そよ風、植物や動物の姿・声など、快を感じる要素をさす。この要素の質が高い、あるいはこの要素

が豊富であると人は長く魅了要素に惹かれて、癒しにつながる。

適合性とは、景観の中で人がしたい行動がとれることをさす。どんなに素敵な景観でも、「ここから中に入らないで」「そこに座らないで」と言われたら快感情は消える。人の行動にブレーキをかけない景観は適合性の高い景観といえる。



図2

これらの4要素が満たされるほど、癒しの景観としての質は高まる。癒しの景観を探しに出かけてみよう。遠出しなくてもいい。解放・広がり・魅了・適合性のある景観は、身近な場所にもきっとある。



図3

- 図1：解放（日常が見えない）・広がり（空と花畑）・魅了（ポピー、立木、青空）のある景観
- 図2：適合性（芝生の上に座り、歩ける）のある景観
- 図1・図2はあわじ花さじき
- 図3：身近な癒しの景観：日常が見えず、影が広がり、緑と影のコントラストが美しい様子を、芝生に座って見ている

## 花緑いっぱい運動推進員研修会の報告

8月末までに、兵庫県下の10地域（県民局・県民センター）中の9地域で、研修会を開催しました。北播磨地域は、日程が決まり次第通知いたします。

多様な講師に講習を行っていただき、地域の方々には、専門的かつ新しい知識や技術を学ぶとともに、久しぶりの交流の場となりました。



■但馬地域 6月11日（金）

■丹波地域 8月6日（金）

### 「バラの管理とガーデニングの関係」

緑の相談員 花元 仁 氏

植物に良い環境、バラの病気とその種類・薬剤使用について講習。また実際にバラを用いたの剪定を分かりやすく実演していただき学習しました。



■阪神北地域 6月14日（月）

■阪神南地域 7月1日（木）

### 「花と緑が、ひと、まち、環境を育てる ～コロナパンデミックを経験して～」

（公財）兵庫県園芸・公園協会 顧問 石原 憲一郎 氏

コロナ禍の生活、地球環境・グリーンインフラの取り組みから、ひとつの小学校区の範囲での暮らしの中での花と緑のまちづくり環境を学びました。

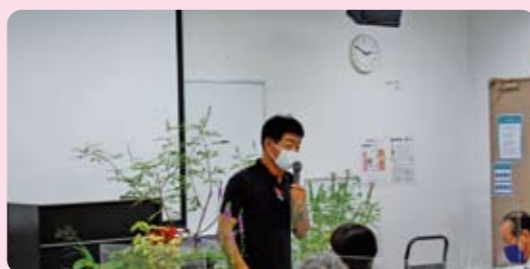


■東播磨地域 7月30日（金）

### 「暑い夏でも楽しめる花壇」

ひょうごガーデンマイスター 稲澤 範治 氏

夏花壇に使用する植物、約30種類を実物で紹介説明していただきました。花壇づくりに具体的なイメージができる学習になりました。



■淡路地域 8月2日（月）

### 「緑を活かした『学び』の環境づくり」

兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院  
緑環境景観マネジメント研究科 准教授 嶽山 洋志 氏

バタフライガーデン、ビオトープを活かしたチョウなどの集まる環境での学習の実例。また、子どもの創造性促進について学習しました。



■神戸地域 8月10日（火）

### 「植物と昆虫」

伊丹市昆虫館元館長 後北 峰之 氏

講師の伊丹市昆虫館での飼育話、地球の誕生から現代までの植物と昆虫の関わり合いと生態を学習しました。



■西播磨地域 8月18日（水）

### 「リーフプランツを活かした花壇と庭づくり」

ガーデンデザイン研究家 中山 正範 氏

リーフプランツの、多彩な色・造形・質感の特徴と印象に合わせてデザインする楽しみを学習しました。



■中播磨地域 8月20日（金）

### 「樹木の病害虫と農薬による防除法」

ひょうごローズクラブ副理事長 前野 義博 氏

バラの年間管理について、時期的な夏の剪定方法を実演していただきました。また病害虫について農薬の選び方と使用法について学びました。



## 花緑いっぱい運動推進員募集

花と緑あふれる美しい県土づくりを推進するため、花と緑のまちづくりに一定の技術や知識をお持ちで、地域における花緑活動のボランティアリーダーとして実践活動や人材育成に取り組んでいただける方を募集しています。令和3年8月31日現在、186名の方が花緑いっぱい運動推進員として活動されています。

### ■対象者

兵庫県内に居住し、2～3年以上にわたって地域の花緑活動団体で活動を行っており、地域において指導する意欲を持ち、指導活動のできる方。  
・花と緑に関して地域で顕著な活動を行っており、今後もその活動の継続が期待される者で、緑のパトロール隊等による推薦を受けられる方

### ■活動内容

- \* 緑化活動に取り組もうとするグループの育成
- \* 緑化活動への技術的なアドバイス（設計、整備、維持管理等）
- \* 緑化活動グループの交流促進 など

応募は、各地域  
県民局及び県民センターへ  
\*連絡先は、5ページ  
■定員に達し次第締め切ります。

# 花と緑の専門家バンク

## 専門家と一緒に、 花緑の悩みを解決しませんか？

### ■事業概要

「花と緑の専門家バンク」は、花と緑のまちづくりに取り組む花緑グループの活動を支援するため、都市緑化や景観園芸分野の専門家、造園や花と緑に関する専門的な知識・技術を有する専門家を派遣する制度です。

事業の概要は以下のとおりです。詳しくはお住まいの地域の県民局・県民センター駐在緑のパトロール隊員にお尋ねください。

花と緑のまちづくり活動をより専門的に深めたい方々の積極的なご利用をお待ちしています。



#### 1 対象内容

- ・緑化施設の維持管理及び植え替え等の診断及び技術指導
- ・花と緑のまちづくりに関すること
- ・緑化施設整備計画の策定や設計に関する助言
- ・花と緑のまちづくりに関わるテーマの講演会・シンポジウム等の講師

#### 2 対象団体

- ・県民まちなみ緑化事業を実施または計画している団体
- ・花と緑のまちづくりを実施または計画している団体

#### 3 費用

- ・講師の費用は、「花と緑の専門家バンク」が負担します。

#### 4 相談・申込

- ・裏面の申請用紙に必要事項を記入の上、実施予定時期1ヶ月前までにお住まいの(右記表参照)地域の県土木事務所等駐在緑のパトロール隊員に提出してください。

### 校庭の芝生化

学校や公園などの芝生の施工・維持管理までを、芝生の専門家より講習・指導

### 樹木の管理

古木や病気の樹木の維持管理・剪定の講習・指導



### 屋上緑化

屋上緑化の専門家によるデザインから建築強度や季節ごとの維持管理の講習・指導

### 花壇のデザイン

草花の専門家による、地域の季節に合った植栽デザインや維持管理方法の講習・指導



### お問い合わせは、こちら

実施箇所ごとの問い合わせ先にご連絡ください。

実施箇所	お問い合わせ先	郵便番号	お問い合わせ先	電話番号
神戸市	県土整備部まちづくり局 都市政策課緑化政策班	650-8567	神戸市中央区下山手通 5-10-1	078 (362) 3563
尼崎市、西宮市、芦屋市、 伊丹市、宝塚市、川西市、 三田市、猪名川町	宝塚土木事務所 まちづくり建築課	665-8567	宝塚市旭町2-4-15	0797 (83) 3191
明石市、加古川市、高砂市 稲美町、播磨町	加古川市土木事務所 まちづくり建築課	675-8566	加古川市加古川町寺家町 天神木97-1	079 (421) 9402
西脇市、三木市、小野市 加西市、加東市、多可町	加東土木事務所 まちづくり建築課	673-1431	加東市社字西柿1075-2	0795 (42) 9409
姫路市、相生市、たつの市 赤穂市、宍粟市、神河町 市川町、福崎町、太子町 上郡町、佐用町	姫路土木事務所 まちづくり建築第1課	670-0947	姫路市北条1-98	079 (281) 9313
豊岡市、養父市、朝来市 香美町、新温泉町	豊岡土木事務所 まちづくり建築第1課	668-0025	豊岡市幸町7-11	0796 (26) 3757
丹波篠山市、丹波市	丹波土木事務所 まちづくり建築課	669-3309	丹波市柏原町柏原688	0795 (73) 3863
洲本市、南あわじ市 淡路市	洲本土木事務所 まちづくり建築課	656-0021	洲本市塩屋2-4-5	0799 (26) 3213

花と緑の専門家バンク事務局

(公財) 兵庫県園芸・公園協会 花と緑のまちづくりセンター  
TEL.078-918-2405

ホームページ [ひょうごはなまち 専門家バンク](#) 検索



## グリーンメッセージ

### 淡路花博20周年記念「花みどりフェア」～秋期始まる～

兵庫県参与・(公財)兵庫県園芸・公園協会顧問  
石原 憲一郎

2000年に開催された国際園芸・造園博「ジャパンフローラ2000（淡路花博）」から20年を経過したこともあり、コロナ禍で1年延期されたものの、2021年3月20日から5月30日までの春期を経て、9月18日から10月31日まで秋期が始まるうとしています。

新型コロナ・ウイルス感染症もデルタ変異株による感染者激増で、開催については、この先不透明なところがありますが、淡路花博から20年経過したこの時期に、改めて、その意義や役割さらに今後の方向等について思うことを書いてみました。

淡路花博は、「人と自然のコミュニケーション」を基本理念として6か月間開催され、期間中に国内外から約700万人の来場者を数えました。その後、この理念継承と淡路島の地域創生を掲げて10周年、15周年と花みどりフェアを開催し、今回、20周年を開催するものです。

この20年間で社会も生活も淡路島も大きく変わりました。

1998年供用開始された明石海峡大橋の影響もあり、経済効果や交流人口は飛躍的に増大し、2005年には、1市10町の自治体が3市に集約され強化されました。しかし、島内人口は、年平均約1500人ずつ減少し地域社会の維持にとって様々な課題を顕在化させています。

花と緑のまちづくりに関しては、淡路花博前に開校した淡路景観園芸学校やこれまでの花みどりフェア開催の効果もあり、島民を中心とした緑花活動が活発化し、花と緑あふれる美しい淡路島づくりに大きな役割を果たしました。20年を経過した今、人口減少と高齢化により活動団体の活力が低下し、持続可能な活動を行うための解決策を示す必要があります。

淡路島には、緑花活動を支援する淡路島くにうみ協会が存在し、また「あわじ緑花スタイル交流広場」という緑花活動団体や行政、大学等多様な人々が集う「場」がありますので、県内他地域に比べ恵まれていると感じています。関係者のより一層のご努力を期待するものです。

ところで、過日、国連の「気候変動に関する政府間パネル (ICCP)」は、第6次報告書で、「気候変



花みどりフェア秋2021ポスター  
淡路花博20周年記念事業実行委員会提供

動は人間の行動に起因すると強い表現で結論づけ、今後の気温上昇や大規模災害の発生など気候変動に伴う各種事象を危惧する発表がありました。この8月の記録的長雨もその一つと考えられます。

淡路花博が開催理念として掲げた「人と自然のコミュニケーション」は、世界的な視点でみると必ずしも上手にコミュニケーションがとれているとは言い難いです。

また、コロナ禍は、人々の日常を大きく変え、花や緑、そして公園等のオープンスペースが人間の精神的かつ肉体的健康維持増進に極めて重要な健康インフラであることを教えてくれましたが、未知のウイルスが潜む自然との距離感の取り方を考えさせられました。

今回9月18日から開催予定の花緑フェア（秋期）では、予定されている種々のイベントや淡路グルメを楽しむことを通して、我々人間の生き方や暮らし方を地球的規模で問いつつ、淡路島の持続可能な地域づくりの方向について考える機会にすべきではないでしょうか。

ほっと

## 相談員ニュース

### バラの管理のお話<夏～秋>

緑の相談員 花元 仁

#### 【夏～秋のバラの作業】

9月初旬に四季咲性のバラは夏剪定を行います。夏剪定は、10月中旬に綺麗で大きいバラを咲かすために必要な作業です。しかし山間部や気温が高くない地域では、伸びが鈍いので夏剪定といわれるほどの剪定を行わないで切り戻し程度の場合もあります。

通常通りの夏剪定は、頂端分裂組織（枝先）から数えて5枚葉の上で切ります。1枚、3枚、5枚、7枚と葉がついていますが、葉が1枚だけでは花が小さく、5枚以上あると綺麗なバラが咲きます。

秋のバラは春より小ぶりですが、綺麗な色彩を出してくれます。

#### 【株を元気にするために】

夏場に弱った株を元気にするのはエネルギーと施肥です。夏の追肥は、一般的には即効性肥料の化成肥料10-10-10、緩効性肥料のI B化成や追肥用のバラ肥料などを株の周りに施します。

光合成はエネルギーを作ります。光合成は葉緑体の中でグルコースを作り細胞内に移動、解糖系でピルビン酸に変わり、電子伝達系で多くのATP（アデノシン三リン酸）を作りエネルギーにします。肥料があってもATPがなければ、枯れてしまいます。光合成に必要な葉が沢山残っている事がしっかりしたバラを作り、冬の剪定も芽が大きくやりやすくなります。しっかりした枝があるかは、夏～秋にかかっています。そこで、葉を守る薬剤散布が大切になるわけです。又この時期の追肥は、翌年2月の冬剪定にも影響が出て来ます。バラの枝は、水分が多いと冬を越せません。冬を越せる木質化した枝を作るには花を咲かせて枝を固めます。

そして、接ぎ木で使ういい穂木を取るためにも木質化させないといい苗になりません。

#### 【意外に知らない庭づくりのワンポイント】

病気でべと病があるのですが、晩夏～晩秋の昼夜の温度差が大きくなる時期に出やすくなります。最初の症状は赤黒い病気の点が現れ、それが短期間で全体に拡がり、やがて葉を落とします。対策は、リドミルM Z 粉剤を3日間、連続散布して下さい。

#### \*\* 園芸相談コーナー \*\*

10:00～12:00 13:00～16:00  
火曜日を除く毎日

TEL 078 (918) 2405  
FAX 078 (919) 5186  
MAIL info\_midori@hyogopark.com

当分の間、電話又はファックス、メールのみの相談としていますので、ご了承ください。



明石公園バラ園

# 園芸教室

## 令和3年度 令和3年10月～12月

実施日	曜日	開催時間	タイトル	講師名	受講料【円】	受付開始日
10/ 3	日	午後	◆ 薬になる木・草を学ぶ <秋>	(一社)明石市薬剤師会 高橋 宏和	600	9/15
10/ 8	金	午後	ハーブのある暮らし② ～楽しみ方、使い方色々～	ハーブ創作研究家 星川 雅子	300	9/15
10/10	日	午後	◆ どんぐりで森の仲間をつくろう ～キャラクターでオブジェづくり～	園芸研究家 山本 建也	600	10/ 1
10/24	日	午前	◆ 明石公園の野草を押し花で楽しむ <秋>	日本自然保護協会自然観察指導員 高野 哲司	300	10/ 1
10/29	金	午後	庭木の手入れ② ～高木・マツの剪定と整枝～	(株)あすか園芸舎 代表取締役 大西 進	100	10/15
11/ 7	日	午前	◆ 明石公園の自然観察⑤	明石公園の自然に親しむ会 代表 兼光 たか子	100	10/15
11/14	日	午前・午後 どちらか	プリザーブドフラワーアレンジ① ～クリスマス アレンジ～	CFDクリスタルフラワーデザイナーズ 公認講師 松井 敏美	2,100	10/15
11/21	日	午後	季節を彩る寄せ植え <クリスマス>	ぐんぐんフラワー 代表 郡司 枝美	3,100	11/ 1
11/28	日	午前・午後 どちらか	◆ プリザーブドフラワーアレンジ② ～お正月アレンジ～	CFDクリスタルフラワーデザイナーズ 公認講師 松井 敏美	2,100	11/ 1
12/ 5	日	午前	◆ 明石公園の自然観察⑥	明石公園の自然に親しむ会 代表 兼光 たか子	100	11/15
12/10	金	午後	バラの手入れ ～ツルバラの管理～	花と緑のまちづくりセンター 緑の相談員 花元 仁	100	11/15
12/12	日	午後	◆ お正月のしめ縄を作ろう!	草木遊び塾主宰 松井 鴻	600	11/15
12/19	日	午後	新春を飾るハンギングバスケット	日本ハンギングバスケット協会 兵庫県支部	3,600	12/ 1
12/26	日	午後	◆ ミニ門松づくり	園芸研究家 山本 建也	600	12/ 1

## 花緑博士へチャレンジ!!

◆印は小学生以上が対象です。対象の教室を5回以上参加した小中学生には、花緑博士の認定証を進呈します。

### ★★お申し込み・お問い合わせ★★ 花と緑のまちづくりセンター

TEL 078-918-2405

受付時間は、9時から17時迄です  
お申込み開始日より先着順 ※電話のみの受付

花と緑のまちづくりセンターの案内や、ひょうご  
まちなみガーデンショー情報などをホームページ、  
フェイスブックからも配信しています。  
「ひょうごはなまち」で検索、または、QRコード  
よりご訪問ください。



ホームページ



フェイスブック

開催場所  
花と緑のまちづくりセンター 研修室



## 花と緑のまちづくりセンターだより 58号

●令和3年9月13日(年4回発行)

●編集発行 公益財団法人兵庫県園芸・公園協会花と緑のまちづくりセンター長 福田 稔

〒673-0847 明石市明石公園1-27 花と緑のまちづくりセンター

TEL:078(918)2405 FAX:078(919)5186 Eメール:info\_midori@hyogopark.com